

教育モニター 様

「学校支援ボランティア」について、ご要望をいただき、ありがとうございました。

モニター様におかれましては、日頃から地域の学校支援に積極的にお力添えいただいておりますこと、まずもって感謝申し上げます。また、現状に満足することなく、地域と学校のよりよい関係づくりをめざして、様々な角度からご意見をいただけますこと、重ねて感謝申し上げます。

ご要望のありました学校支援ボランティアにつきましては、地域の人々と学校が連携・協働して子どもの成長を支えることで、地域創生にもつながる、大変重要な取組だと理解しております。県教育委員会では、市町村の社会教育担当者を対象とした研修を年2回開催しています。各地域の学校支援の活性化につながるよう、地域と学校をつなぐコーディネーターとしての役割の重要性や具体的な取組について、県内の事例を交えながら実施しています。

しかしながら、活動を円滑に進めるための仕組みが整っていない地域があることも事実です。

このような状況に対して、県教育委員会では、地域と学校をつなぐコーディネーターの役割や、学校支援ボランティア（サポーター）の方々にお願いしたい心構え、学校内の体制づくり等、それぞれの立場のよりよい活動につながる手引き（「学校支援のためのハンドブック」）を作成し、県内すべての市町村教育委員会に配付しております。また同時に、各市町村や学校区の取組を実践事例集としてまとめております。どちらも、県のホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kyoiku/shogai-gakushu/shakai-kyoiku/17768/gakku-sien.html>（検索ワード「岐阜県 地域による学校支援」）

なお、県内にも、地域住民の方々が中心となり学校支援を積極的に進めている地域が多くあります。特に大垣市や山県市は、仕組みを整え、コーディネーターの方が中心となって、継続して活動を行っていますので、ご紹介させていただきます。

今後も地域の人々と学校が連携・協働して子どもの成長を支える仕組みを整えられるよう、一層の努力をしてまいります。今後ともご支援のほどお願い申し上げます。

平成28年10月5日

岐阜県教育委員会

社会教育文化課長 土井 信之